

千曲ふれあい散歩だより

千曲川・橋梁の今昔 その2

こうがい ばし
筭 橋



坂城町苧屋原からの筭橋

坂城町をゆったりと南北に流れる千曲川。筭橋はこの千曲川に架かる橋のうち、坂城町では最下流にあり、千曲建設事務所の管内で唯一、市町境を跨いで右岸が坂城町、左岸は千曲市となっています。

この場所は、古くから往来に欠かすことのできない要所であるとともに、「筭の渡し」として今に語り伝えられた伝説の地でもあります。戦国時代に思いを馳せながら、史跡へも訪れてみてはいかがでしょうか。当所が管理する7橋梁を紹介するシリーズ、第2回目は筭橋です。

1 橋梁データ

路線名 (場所)		一般県道 新田坂城停車場線 (右岸 坂城町苧屋原 左岸 千曲市力石)
現橋	完成年月	昭和 59 年 (1984 年) 6 月
	橋長・幅員	230.76m ・ 4.5m
	構造	鋼桁+鉄筋コンクリート桁
旧橋	最初の橋の完成年	明治 22 年 (1889 年) 頃
	主な改修年	昭和 35 年 (1960 年)、昭和 37 年 (1962 年)
備考		橋梁遺産 (土木・環境しなの技術支援センター指定)

2 筭の渡し



筭橋の架かる場所は、「筭の渡し」と呼ばれる千曲川の渡し場の一つで、「筭」は村上義清の居城、葛尾城かつらおじょうの落城にまつわる伝説に由来しています。

坂城町苧屋原の川岸には、史跡「筭の渡し」があり、国道沿いは橋の完成記念碑などが立つポケットパークとしてドライバーの休憩場所になっています。

対岸の千曲市力石ちからいしには、力石自治会の協力により市が設置した案内板が設置され、兩岸の人達の橋と地域を大切にしたいという思いが伝わってきます。

「筭の渡し」

戦国時代、天文 22 年 (1553 年) 4 月のこと。武田信玄率いる敵軍の攻撃を受けて葛尾城が陥落した際、城主村上義清の奥方が川を渡って上山田の荒砥城あらかじょうに逃れようとした。危険が迫る中にもかかわらず、船頭は船を出し無事に力石へと渡してくれた。

奥方は船頭に感謝し、「再びこの地を領することになれば必ず恩賞をとらせよう」と言って髪に挿していた筭を抜いて手渡したという。

以来この渡し場は「筭の渡し」と言われるようになった。



「筭の渡し」案内板 (千曲市力石)

【筭（こうがい）】一説によると、平安時代から髪を整えるために男女ともに用いた箸に似た道具で、銀やべっ甲で作られていたとされています。女性の筭が髪飾りとなったのは、安土・桃山時代以降。髪に挿して見える部分に彫りや花飾りを施したものが多かったようです。

3 木橋から永久橋へ



旧木橋（長野県更埴建設事務所記念誌 平成7年3月）

筭の渡しに初めて木造の板橋が架設されたのは明治22年（1889年）頃といわれています。この橋は、明治、大正、昭和と洪水により流失を繰り返し、昭和34年（1959年）8月の台風による大出水の際に流失しました。

流失後は千曲市側の田畑を耕作する人達は、苧屋原の人達の渡船で不自由を凌いできました。（坂城町誌下巻歴史編）



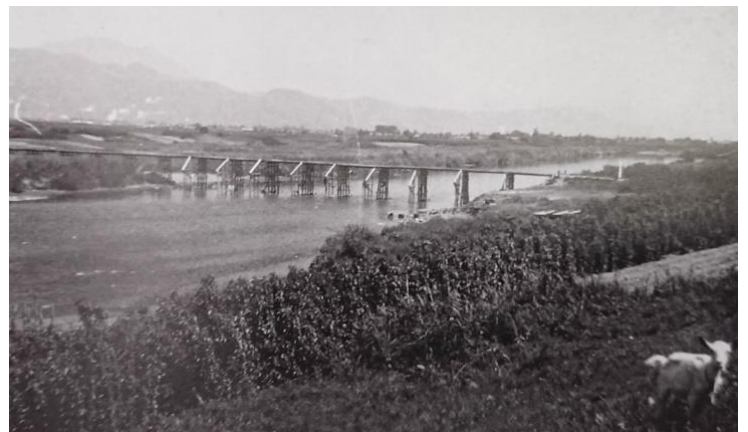
旧筭橋

「千曲川の今昔」

発行 社団法人北陸建設弘済会（現 一般社団法人北陸地域づくり協会）

監修 国土交通省北陸地方整備局千曲川工事事務所（現 千曲川河川事務所）

平成13年3月30日発行



昭和30年頃の木橋

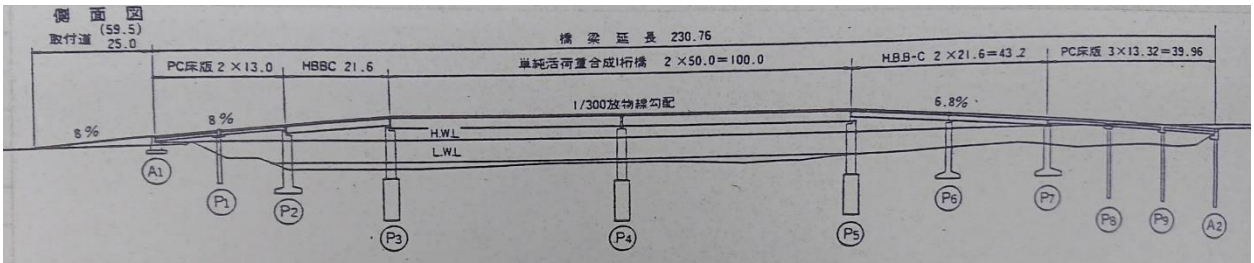
「坂城町合併50周年記念誌 さかきふるさと100選」
坂城町・坂城町教育委員会 平成17年10月21日発行

筭橋は大正11年（1922年）に県道に編入されたことから、県が木橋ではなくコンクリート橋を計画。昭和35年（1960年）、出水時には冠水して、水の下になる全国的にも珍しい「潜り橋」として完成し6月に渡り初め式が行われました。

昭和39年（1964年）、昭和天皇皇后両陛下下行幸啓が長野県で行われた際、車列がこの橋を通りました。

4 現在の筭橋

コンクリート橋として架設されて以来、20年間被災することなく経過しましたが、昭和56年8月の台風で流失。昭和57年2月に原形復旧、同年8月の台風でまた流失しました。現在の鉄筋コンクリート橋は昭和59年7月に完成。たび重なる水害に対処するために、抜本的な対策が検討されました。両側の河川敷から中央径間に向かい、斜路の仮橋のようにになっているのが特徴です。



千曲建設事務所橋梁台帳から



坂城町荊屋原からの筈橋

上田市にある生田観測所（国土交通省千曲川河川事務所所管）の水位が、増水により 1.9mに達したときは、筈橋の事前通行規制を行うこととしており、両岸への規制標識の設置と坂城側の欄干（写真の赤白のガード）の取り外しを行います。（地元事業者へ委託）



5 サイクリングコースから足を伸ばして



千曲川左岸を通る上田千曲長野自転車道(千曲川サイクリング道路)「力石を訪ねるコース」(9.3 km) は里山や田園、社寺、河畔景観など見どころと変化に富んだコースです。このコースから約1分、少し足を伸ばせば筈橋の斜路も体感できます。



右岸側から渡ると岩井堂山（自在山 通称 おにぎり山）に登っていくようなジェットコースターの助走感覚

温泉サイクリング 千曲川サイクリングロードのマップは
千曲建設事務所ホームページからダウンロードできます。
<https://www.pref.nagano.lg.jp/chikuken/koho/ko-susyoukai.html>



今回は千曲橋です。（掲載してある白黒写真の転載は禁止します）